

2021 日本学生トライアスロン選手権 渡良瀬大会 報告

強化育成委員会

山野 健二

10月16日（土）、日本学生トライアスロン選手権（インカレ）が、昨年に続き群馬県邑楽郡板倉町の渡良瀬遊水地で開催され、長崎県国体強化選手の白石怜佳さん（立命館大学）、小林諒祐君（九州大学大学院）、松本敬之君（長崎大学）の3名が出場しました。

（1）白石怜佳さん 4位入賞！

立命館大学2年の白石怜佳さんが4位入賞。昨年は1年生ながら11位と健闘したが、上位との力の差は大きく、スイムから出遅れる展開だった。今年はスイムを先頭集団で上がり、課題のバイクも、粘り強い走りで先頭集団から切れることなく、6人のラン勝負に加わることができた。得意のランだったが、トップから3分遅れの4位でフィニッシュ。バイクで足を使い、思うように身体が動かないながら最後まで粘りの走りを見せた。



ラン序盤の2位争い。
来年はここから前に出る力を付けたい。

バイク先頭集団を走る白石さん（N0071）



昨年に比べると、姿勢が見違えるようによくなった。



白石さん 来年の目標

来年の目標は、レベルの高いレースに出場し、少しでも多く成績を残すことです！

（２）小林諒祐君 68 位でフィニッシュ

得意のスイムを先頭から 2 分遅れの 43 位と、やや出遅れて終える。バイクは集団をキープし 76 位通過でランスタート。昨年まではランで順位を落とすレース展開だが、今年はランで踏ん張り順位を上げ 68 位でフィニッシュした。スイムの出遅れがその後の展開に響き、順位を上げられなかったのは残念。しかしランの力が付いてきたので、来シーズン以降の活躍がとても楽しみだ。



バイクで先頭を引く小林君
(N0465)



ランのスピードは確実に上がっている。来年は 10k を走り切れるスピード持久力を付けて勝負してほしい。

小林君 来年の目標

1 年間ランだけに向き合って、再度戻って来たいと思っています。活躍できるように頑張ります。

（２）松本敬之君 91 位でフィニッシュ



実力的には上位進出が期待されているが、2 年間ほとんどレース経験を積むことができず、実戦で結果を残すことができない。今回はスイムの波に対応できず出遅れと、ランでの靴擦れトラブルによる失速が残念だった。レース経験を積み自信を付けければ、常に上位で勝負できるはず！

水温低くウェットスーツ着用だった



バイク、ランともにまだまだ力を出し切れていない



松本君 来年の目標

この度、全日本学生選手権に出場させていただきました。長崎大学3年の松本です。

今年は、とても不甲斐ない結果で終わってしまったので、応援してくださった皆さまには本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

まずは今年度末の認定記録会でしっかりと目指してる大会の出場基準をクリアし、来年は伸び代日本一を目指して頑張りたいと思います。皆さま、これからも応援よろしくお願い致します。



※大会のリザルトは、日本学生トライアスロン連合ホームページにアップされています。

<https://jutu.jimdo.free.com>

女子 白石 (長崎南高一立命大) 4位

日本学生トライアスロン

トライアスロンの日本
学生選手権はこのほど、
群馬県板倉町の渡良瀬遊
水地で行われ、女子選手
権(51・5キ)で長崎南
高出身の白石怜佳(立命
大2年)が2時間15分1
秒で4位と健闘した。

白石は水泳を3歳、陸
上を口見小1年から始め
た。長崎南高時代は水泳
部に所属しながら、毎日、
陸上部の朝練習に参加。
冬の駅伝シーズンは陸上
の練習を増やして本番に
備えた。東長崎中在学中
から県内のトライアスロ
ンチームでも活動。立命
大進学後、本格的に競技
に取り組んで着実に力を
つけている。



バイクで上位争いをする白石(立命大)

群馬県板倉町

白石はスイム(1・5
キ)でトップと4秒差の
4位発進すると、バイク
(40キ)を終えても首位
と3秒差の4位をキ
ープ。1〜6位の差が10秒
以内の混戦でスタートし
たラン(10キ)は、途中
で脚がつるアクシデント
があった中、懸命に順位
を守ってフィニッシュし
た。(黒川美穂子)